すすむ!! 消防力整備五ヵ年計画

◆…まといをさげた火消し、手押しポンプの消火威力がすべての…◆
◆…消防活動も、時代の波とともに動力ポンプや消防自動車へと…◆
◆…消防機械は近代化されてきました。……◆
◆…ところで、火災シーズンをむかえ、住民が安心できるか、ど…◆
◆…うか、市の消防態勢ははたしてどのような近代化へのつみ重…◆
◆…ねがなされたか、のぞいてみました。……◆

……すすむ消防整備計画……

強化された消防
防災へ万全の態勢

住民を火災、天災から守るために活躍しているものに消防の組織があります。

ところで、市の消防組織はこれまでの消防団に加えて、昨年四月に開署しました消防署と二つの組織があって、同じ目的にむかって活動しています。しかし、この両者は組織上かなりの違いがあります。

消防団　市に在住し、生業についています一般市民のなかから、消防に熱意のある奉仕的活動のできる人たちを団員に任命したもので、非常勤の消防職員によって組織されています。

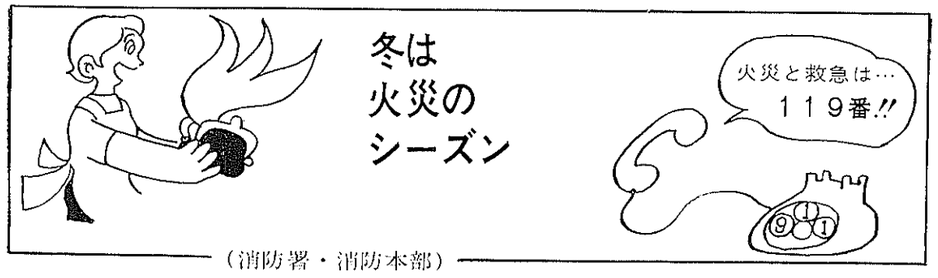
消防署　消防事務の専門職として、公募試験により採用された常勤の消防職員（消防士）によって組織され、二十四時間中いつでも出動できる体制で警戒にあたっています。また、本年度は人命救助のための救急隊の設置も、義務づけられ、現在、その準備をすすめています。

これまで、年々消防力の強化をはかってきましたが四十年からは▽消防力整備五ヵ年計画▲にもとづいて消防組織の再編成を行なうなど、機構、機械整備をじょじょにすすめられてきました。

五ヵ年計画の実施前の三十八年から実施中の四十二年までの五ヵ年間に整備されたものは、

可搬動力ポンプ＝七台
ポンプ運搬車＝十七台
普通消防自動車＝九台
防火水槽施設＝二十三ヵ所
屯所＝八ヵ所

機構も改革
消防ポンプ車13台に
近代化はかる



（消防署・消防本部）

ハイ!! 119番

……すすむ消防整備計画……

屯所改造＝二ヵ所
鉄塔＝七ヵ所

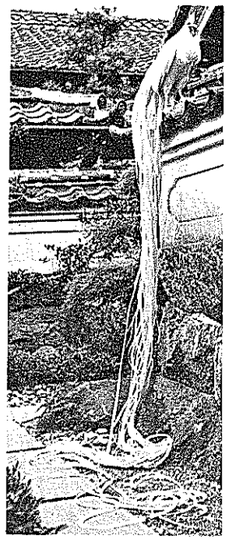
などで、総額三千四百二十五万五千円に達しています。

とくに整備五ヵ年計画の始った四十年度からは、毎年、普通消防ポンプ自動車＝三台（一台百九十余万円）を導入するなど、意欲的に消防力の強化がはかられ、五ヵ年計画四年目のことしも、三台を購入、保険協会から寄贈されました「火災保険号」を加えた四台の消防車が新しく配置されました。その結果、十三台の消防自動車を保有することになりました。

これまで十八分団ありました団機構を十二分団（上倉、北部、岡豊、東部、西部、後免、大篠、香南、日章、南部、南海、琴平）二十四班に統合整備されました。

現在の団員の総数は、三百二十二人で、団長（田所良知氏）のもとに、副団長三人、分団長十二人、副分団長十四人、部長二十人、班長二十四人の幹部団員と、二百四十八人の一般団員によって組織されています。

ことしは長尾鶏（おしどり）の生まれ年



いまから百五十年前に、篠原の武市利衛門さんがわしの先祖五色鶏をつくり、ときの藩主山内侯に献上しました。

この五色鶏は原種の白藤種として、明治初年には褐色種、同二十年に白色種ができ、わしのなかまは三種になりました。

わしたちの尾羽は一生はえかわりませずに十五尺にも及びます。わしの一番男前として尾羽の色艶のよいときは、十尺余りのときの三／四年ほどです。

トビラ写真は、わしのなかまの白藤種、ほこらし気な表情をみてやってください。

年額六千円の報酬

団員に対する報酬は、これまで出動のたびごとに出動手当が支給されていたものが、いまでは出動回数に関係なく、年額による報酬（一般団員六千円～団長三万六千円）に改められました。ただし火災出動以外の役員会や水災、警戒訓練などで出務した場合は、若干の費用弁償が支給されています。

また、火災出動の場合の出動体制も改善され、しかも常設の消防署の設置によって、防災体制はますます強化されてきました。

四月には、救急隊を配置

ことし開署しました消防署のしごとは、消防団と同じ▼水害、火災の警戒防御はもとより、防火思想の普及宣伝、消防設備の指導取締りなどの予防に関することなどのしごとで、とくに市民と関係の深いものに

▽人命の救助、▽地水利の調査と保全、▽危険物の取締り、▽防火対象物の取締り、▽建築物の指導、査察、

などに関することを処理しています。

消防署には、署長、次長（予防係長兼務）、総務、予防、警防の三つの係があって、二人の消防士長、十五人の消防士によって、第一、第二の消防隊が編成され、隔日交替、二十四時間勤務で警戒にあたっています。

ところで来年四月、正式に発足をみます救急隊は、現在、職員の公募、訓練などの準備態勢に入っており、第一、第二救急隊を設けて、激増する交通事故などの救急事態に対処することになっています。

署には消防本部も併設され、消防団の事務や、こと消防に関するすべてのことが、ここで行なわれています。

6か月で4人死亡
市民交通傷害保険

☆　傷害で医師の治療を受けた人。
6ヵ月以上〔10万円〕……1人
3ヵ月以上〔5万円〕……1人
1ヵ月以上〔2万円〕……4人
1週間以上〔5千円〕……8人
1週間未満〔2千円〕……1人

昨年6月から実施の市民交通傷害保険の加入者は、12月19日現在で1万70人となり、当初の加入目標を突破しましたが、加入保険料（掛け金）の総額は、339万5千670円となっています。

ところで、保険金の請求者は19人で合計227万2千円を支払っています。

その内訳は

☆死亡〔50万円〕……4人

南国市は国道が3線あって、交通量も多く、事故も激増しています。

市民のためのこの保険に加入し、交通戦争に備えてください。

もし、事故にあわれたときは、ささいな事故であっても警察に届け出てください。

また、市役所にも一応連絡をしてください。